

子どもの場合

●子どもの心肺蘇生

子どもの心肺蘇生は、基本的には成人の場合と同じですが、子どもは、窒息や溺水など呼吸が止まることによって心肺停止をおこす場合が多く、このような場合は、できるだけ早く人工呼吸を行う必要があります。

●子どもの胸骨圧迫

子どもは体の大きさに応じて片手または、両手で胸の厚みの約1/3くぼむ程度、乳児は指二本で胸の厚みの約1/3くぼむ程度押し下げます。乳児の圧迫部位は、乳頭と乳頭を結ぶ線のやや左側になります。

●乳児の人工呼吸

乳児に人工呼吸するときには、気道確保をした後、救助者の口で乳児の口と鼻を覆い、吹き込みます。



赤十字講習に参加して学ぼう!

「心肺蘇生とAEDの使い方」を学べる赤十字救急法講習を日本赤十字社の全国支部で開催しています。

www.jrc.or.jp/study/join/

ナビダイヤル
0570-009595



講習会は、みなさまからいただいた活動資金によって運営されています。受講料は、教材費などの実費のみをご負担いただいています。

WEBで学ぼう!

「心肺蘇生とAEDの使い方」を学べる動画(15分)を日本赤十字社ホームページで公開しています。

www.jrc.or.jp/study/safety/



©AKS

知って得する赤十字講習

■ 救急法基礎講習

胸骨圧迫(心臓マッサージ)や人工呼吸など最も基礎的な救命処置とAEDの使い方について学べます。



■ 救急法

急病や出血、骨折などのけがの手当、災害時の心得などについて学べます。



■ 健康生活支援講習

高齢の家族や地域の高齢者との接しと介護の仕方、自身が高齢期を健やかに迎えるための知識や技術について学べます。



■ 幼児安全法

子どもに起こりやすい事故の予防とけがの手当、かかりやすい病気の対処などについて学べます。



■ 水上安全法

プールや海での泳ぎの基本と事故防止、溺れた人の救助の方法などについて学べます。



■ 雪上安全法

雪の楽しさを知るとともに、スキー場など雪の上での事故防止や、けがなどをした人の救助、手当などの知識と技術を学びます。



短期講習のご案内

ご要望に応じて、学校や事業所、グループなどへ指導員を派遣することができます。また、全ての講習で、ご希望の時間や内容に合わせたプログラムを実施することができます。まずは、お気軽にご相談ください。

赤十字を知ってほしい。もっと。

AKB48と学ぼう! 「心肺蘇生とAED」



©AKS

 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

心肺蘇生とAEDの手順

はじめに…

心肺蘇生とAEDの使い方を知ることは、いざという時に
 家族や周りの人のいのちを救え、
 また、傷病者の社会復帰の手助けになれるということ。
 AEDは、本当に簡単で、誰にでも使えるようになっていますが、
 さらに「知識」と「経験」をつけてもらえば、
 いざという時の自信にもつながります。
 AEDは、近年の心疾患による死亡者数の増加を受け、
 空港や駅などの公共機関・サッカー場やショッピングモールなど
 現在、たくさんの場所に普及しています。
 みんなもAEDを通じて、人のいのちを救う活動に参加しましょう。



高橋おなみ 児玉遥

「人が倒れている」近づくその前に

- 周囲の安全を確認する(二次事故防止)
- 傷病者の状態を確認する(大出血の有無など)

傷病者の発生

勇気を出して、声をかけよう!

意識の確認

反応をみる



(反応がなければ)

協力者を呼ぶ

「119番」と
「AED」



(心停止の判断)

呼吸をみる



※呼吸の確認は、胸とお腹の動きを10秒以内で観察し、普段どおりの呼吸の有無を確認する
 ※途切れ途切れのしゃくりあげるような呼吸(死戦期呼吸)は、普段どおりの呼吸ではない。

CPR(心肺蘇生)

普段どおりの呼吸がなかったら直ちに胸骨圧迫から開始!

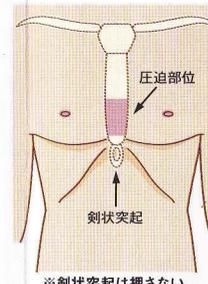
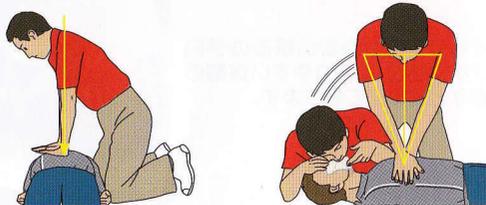
(CPR: Cardio Pulmonary Resuscitation)

「胸骨圧迫」30回と「人工呼吸」2回を繰り返す

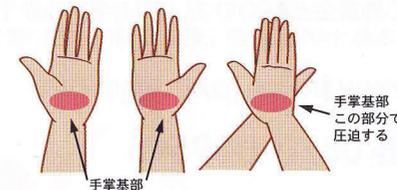
※人工呼吸ができないときは、胸骨圧迫だけを続ける。

胸骨圧迫

「強く(5cm以上)」、「速く(100回以上/分)」、「絶え間なく」、
 「胸の真ん中」を「手掌基部」で垂直に押し上げる



※剣状突起は押さない。



※圧迫と圧迫の間は、胸が元のたかさに戻るまで十分に圧迫を解除する。
 ※人工呼吸は、①気道を確認し、②傷病者の鼻をつまみ、③胸が上がる程度息を吹き込む、④つまんだ指を離して吹き込んだ息を抜く。

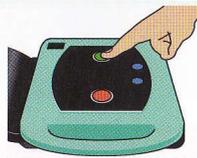
AED(自動体外式除細動器)

まずは電源ON!

音声指示に従ってAEDを操作する

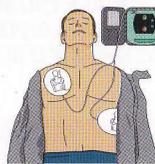
(AED: Automated External Defibrillator)

電源を入れる



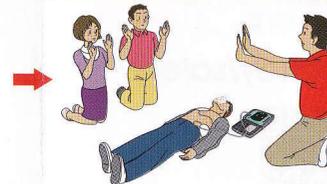
※ふたを開けると電源が入るタイプもある。

パッドを貼る



※パッドは肌に密着させ、肌が濡れているとき等はふき取る。
 ※「心電図の解析」を行うとき、「電気ショック」を行うときは傷病者にはさわらない。
 ※「電気ショック」後や「電気ショックが不要」のときは、傷病者に反応がない限り心肺蘇生を継続する。
 ※救急隊などに引継ぐまで「電源」と「パッド」はそのままにする。

心電図の解析



電気ショック

